



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <http://www.gourmet-kineya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 森田 徹

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,837	2.0	375	17.4	488	45.6	212	57.9
29年3月期第2四半期	19,448	0.3	319	27.6	335	24.2	504	21.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 264百万円 (48.2%) 29年3月期第2四半期 509百万円 (68.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	9.41	
29年3月期第2四半期	22.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	31,813	14,800	45.3	638.33
29年3月期	32,471	14,683	44.4	638.25

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,413百万円 29年3月期 14,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,584	0.4	651	57.9	774	78.2	377	11.5	16.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	22,610,359 株	29年3月期	22,610,359 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	30,485 株	29年3月期	26,471 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	22,581,724 株	29年3月期2Q	22,588,908 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調であるものの、先行きの不透明感が否めない状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は、労働力不足による人件費高騰や原材料価格の上昇懸念、業種・業態の垣根を超えた顧客獲得に向けた企業間競争の激化など、引き続き厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社では、前連結会計年度において設立から50年となり、新たな「新3ヶ年中期経営計画」のもと、当連結会計年度は成長ステージの年度として、「主力事業であるレストラン事業の収益力の強化」「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高198億37百万円（前年同期比3億88百万円増）、営業利益3億75百万円（前年同期は営業利益3億19百万円）、経常利益4億88百万円（前年同期は経常利益3億35百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億4百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(レストラン事業)

既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進するとともに、(株)銀座田中屋を第1四半期連結会計期間に子会社化したことにより店舗数は3店舗増加（前年同期1店舗）し、また、退店7店舗（前年同期10店舗）を行ったことにより、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は40都道府県に406店舗となりました。改装は12店舗実施し、このうち5店舗の業態変更を行いました。既存店舗の売上は順調に推移し増収となりましたが、コストコントロールの効果が及ばず減益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は144億91百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は5億94百万円（前年同期は6億89百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

(株)エイエイエスケータリングにおいては、関西国際空港における欧州やアジア便等でインバウンドの搭乗客が増加するなど好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は25億1百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益5百万円（前年同期は1億29百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒケータリングにおいては、本社工場の冷凍食品の製造受注が増加し増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は8億99百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント損失7百万円（前年同期は64百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの若干の減収となりましたが、コストコントロールの効果が及び増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億28百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益1億51百万円（前年同期は1億45百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては、鉄道及びバス旅客数はほぼ前年同期並みに推移し増収となりました。またコストコントロールが効果を及ぼし増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億27百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント損失11百万円（前年同期は37百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加し増収となり、またコストコントロールの効果も及び増益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は販売数量の減少により減収になりましたが、原材料は高騰しているものの経費のコストコントロールの効果が及び増益となりました。また、当第2四半期連結会計期間においてマレーシア国内における合弁事業のためにGK ASIA SDN. BHD. を新たに設立しております。

以上の結果、その他の売上高は13億88百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益6百万円（前年同期は15百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6億57百万円減少して318億13百万円となりました。これは主に現金及び預金9億11百万円の減少及び商品及び製品5億38百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7億73百万円減少して170億13百万円となりました。これは主に借入金7億3百万円及び社債1億85百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円増加して148億円となりました。これは主に配当金の支払い3億15百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.4%から45.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,358,134	5,446,824
預け金	890,335	787,446
売掛金	1,222,036	1,319,726
商品及び製品	323,794	862,354
原材料及び貯蔵品	214,107	252,549
短期貸付金	6,434	9,774
繰延税金資産	57,863	67,085
その他	661,339	388,580
貸倒引当金	△3,991	△2,572
流動資産合計	9,730,054	9,131,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,278,480	25,425,398
減価償却累計額	△18,549,567	△18,868,026
建物及び構築物 (純額)	6,728,913	6,557,372
機械装置及び運搬具	2,579,699	2,617,011
減価償却累計額	△2,080,281	△2,152,483
機械装置及び運搬具 (純額)	499,417	464,527
工具、器具及び備品	1,645,100	1,742,620
減価償却累計額	△1,322,062	△1,394,075
工具、器具及び備品 (純額)	323,037	348,544
土地	7,759,381	7,726,679
建設仮勘定	4,928	12,000
有形固定資産合計	15,315,677	15,109,123
無形固定資産		
のれん	—	162,417
その他	50,352	46,428
無形固定資産合計	50,352	208,846
投資その他の資産		
投資有価証券	1,142,207	1,196,083
長期貸付金	80,714	77,268
差入保証金	6,033,044	5,981,940
その他	137,575	127,275
貸倒引当金	△18,532	△18,653
投資その他の資産合計	7,375,010	7,363,914
固定資産合計	22,741,040	22,681,885
資産合計	32,471,094	31,813,653

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,168,343	1,411,050
短期借入金	200,000	900,000
1年内償還予定の社債	370,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	2,817,452	2,536,268
未払金	335,905	270,089
未払費用	1,776,974	1,699,927
リース債務	21,725	21,852
未払法人税等	239,557	163,048
未払消費税等	163,881	185,885
賞与引当金	126,158	131,145
資産除去債務	19,531	36,479
その他	176,189	218,427
流動負債合計	7,415,718	7,944,174
固定負債		
社債	1,290,000	1,105,000
長期借入金	5,681,434	4,559,328
長期未払金	30,231	29,782
リース債務	57,933	46,975
繰延税金負債	1,461,916	1,494,092
資産除去債務	1,119,587	1,104,587
転貸損失引当金	18,750	17,250
退職給付に係る負債	135,289	136,794
その他	576,293	575,280
固定負債合計	10,371,436	9,069,091
負債合計	17,787,154	17,013,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,774,226	6,838,733
利益剰余金	1,532,974	1,429,323
自己株式	△24,313	△28,727
株主資本合計	14,121,124	14,077,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,927	355,442
退職給付に係る調整累計額	△23,800	△19,642
その他の包括利益累計額合計	293,126	335,799
非支配株主持分	269,689	387,021
純資産合計	14,683,939	14,800,387
負債純資産合計	32,471,094	31,813,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,448,522	19,837,221
売上原価	11,803,460	11,916,738
売上総利益	7,645,061	7,920,483
販売費及び一般管理費	7,325,115	7,544,896
営業利益	319,946	375,587
営業外収益		
受取利息	3,382	2,839
受取配当金	15,109	17,531
賃貸料収入	48,832	50,369
投資有価証券売却益	—	72,909
その他	35,109	39,574
営業外収益合計	102,434	183,224
営業外費用		
支払利息	52,911	38,379
社債発行費	8,661	—
賃貸費用	23,418	22,980
その他	1,971	9,006
営業外費用合計	86,963	70,365
経常利益	335,417	488,446
特別利益		
固定資産売却益	456,545	—
受取補償金	29,872	5,000
特別利益合計	486,417	5,000
特別損失		
固定資産除却損	14,792	18,285
固定資産売却損	—	658
減損損失	97,767	117,324
退店違約金	—	13,637
その他	2,720	14,623
特別損失合計	115,280	164,529
税金等調整前四半期純利益	706,554	328,917
法人税、住民税及び事業税	204,840	107,650
法人税等合計	204,840	107,650
四半期純利益	501,714	221,266
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,892	8,742
親会社株主に帰属する四半期純利益	504,607	212,524

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	501,714	221,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,976	38,515
退職給付に係る調整額	4,182	4,553
その他の包括利益合計	8,158	43,068
四半期包括利益	509,873	264,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512,384	255,196
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,510	9,138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	706,554	328,917
減価償却費	390,641	415,427
減損損失	97,767	117,324
のれん償却額	—	8,548
長期前払費用償却額	13,023	14,130
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,560	4,987
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,619	△1,298
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△1,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,240	△6,502
受取利息及び受取配当金	△18,492	△20,371
支払利息	52,911	38,379
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△72,909
固定資産除却損	14,792	18,285
固定資産売却損益(△は益)	△456,545	658
売上債権の増減額(△は増加)	△116,258	42,449
たな卸資産の増減額(△は増加)	△505,362	△571,777
仕入債務の増減額(△は減少)	24,193	223,797
未払消費税等の増減額(△は減少)	△180,073	293,598
その他	△175,469	△77,319
小計	△117,116	754,825
利息及び配当金の受取額	18,492	20,369
利息の支払額	△58,793	△39,898
法人税等の支払額	△65,953	△205,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	△223,370	529,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	67,591	24,939
有形固定資産の取得による支出	△679,639	△354,703
無形固定資産の取得による支出	△13,164	△190
長期前払費用の取得による支出	△41,804	△12,786
店舗撤去に伴う支出	△20,341	△18,351
有形固定資産の売却による収入	592,946	35,101
投資有価証券の売却による収入	—	89,630
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△190,286
貸付けによる支出	△539	△8,416
貸付金の回収による収入	3,784	7,772
差入保証金の差入による支出	△38,659	△64,726
差入保証金の回収による収入	143,603	107,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,775	△384,685

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	770,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△70,000
長期借入れによる収入	175,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,609,870	△1,442,021
社債の発行による収入	491,338	—
社債の償還による支出	△70,000	△185,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	203,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△42,793	—
配当金の支払額	△270,318	△315,300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,345	△10,830
自己株式の取得による支出	△925	△4,413
その他	△1,898	△1,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,046,813	△1,056,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,256,408	△911,310
現金及び現金同等物の期首残高	7,225,408	6,358,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,968,999	5,446,824

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,351,423	2,329,253	840,927	329,622	225,478	18,076,705	1,371,816	19,448,522	-	19,448,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	5,784	187,661	-	31,809	225,255	499,739	724,994	△724,994	-
計	14,351,423	2,335,037	1,028,588	329,622	257,288	18,301,961	1,871,556	20,173,517	△724,994	19,448,522
セグメント利益又は 損失(△)	689,904	△129,036	△64,032	145,134	△37,482	604,487	△15,104	589,383	△269,437	319,946

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△269,437千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を97,767千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,491,890	2,501,250	899,123	328,904	227,599	18,448,768	1,388,453	19,837,221	—	19,837,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11,031	177,143	—	29,494	217,669	599,668	817,338	△817,338	—
計	14,491,890	2,512,281	1,076,267	328,904	257,093	18,666,438	1,988,122	20,654,560	△817,338	19,837,221
セグメント利益又は 損失(△)	594,691	5,923	△7,547	151,128	△11,562	732,633	6,125	738,758	△363,171	375,587

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業、マレーシアにおける食品製造事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△363,171千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 第1四半期連結会計期間より(株)銀座田中屋を連結子会社化しており、レストラン事業に区分されております。また、当第2四半期連結会計期間より新たに設立したGK ASIA SDN. BHD. を連結子会社として「その他」の区分に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を117,324千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。